

学校だより

しらかわ



飯豊町立添川小学校
2021. 3. 16

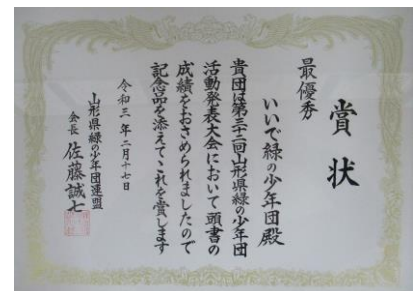
いきいき なかよく ほこりを持って 第22号

緑の少年団活動が県の最優秀賞に輝く！

添川小学校の「いいで緑の少年団」が山形県の最優秀賞を受賞し、3月10日（水）、その表彰式が本校で行われました。山形県みどり推進機構の安達専務理事から児童代表に賞状を授与していただき、その後、6年生が育てた杉の苗を2年生に引き継ぐ式を行いました。

今年度の緑の少年団は、学校林活動（今年度は熊出没でできず、校地内で活動）、ぼくの木わたしの木（実生活動、飯豊少年自然の家に植樹）、杉の苗木を育てる活動、作物栽培活動等、子ども達が一生懸命に取り組んできました。

コロナ禍にあってもしっかりと活動が評価されたものと思います。今年度実施できなかった学校林の活動にも今後取り組み、緑を大切に育てたいと思います。



6年生のみなさん ご卒業おめでとう

9名の6年生のみなさん。いつも人に対する優しさに溢れた、素晴らしい卒業生です。明後日は、自信を持って堂々と卒業証書を受け取ってほしいと思います。6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。中学校での活躍を祈ります。（下のイラストは5年尾形実莉さん作）



＜6年間皆出席＞ 本当に素晴らしいですね。

浅野 蒼仁くん 船山 陽丞くん
塚田ひよりさん 新野由佳梨さん

＜1年間皆出席＞

全校で43名。これも素晴らしいことです。



【おめでとう】 6年 塚田 ひより さん

令和2年度山形県小学校スポーツ優秀賞（女子100m 14秒11 山形県小学生陸上競技交流大会）
山形県法人会連合会 第13回税に関する絵はがきコンクール 優秀賞

学校評議員会でいただいたご意見より

学校評議員会が3月2日（火）に行われました。評議員の皆様には、今回は2学期末の学校評価を受けて、学校運営に関わって、全般的なご指導、ご意見をいただきました。これらのご指導、ご意見を大切に、新年度のよりよい学校運営に努めてまいりたいと思います。誠にありがとうございました。

- 学校評価で、お手伝いや運動について保護者の評価が低い。夏休み等だけでなく、日常のお手伝い運動を進めていきたい。
- 地域とともに取り組む読書運動がよい結果につながりつつあり、たいへんよい。
- 地域の文化祭に学校の児童が参加し、たいへんありがたい。
- 地域に関するアンケート（4～6年）で、東部地区が大好きという結果、よかった。また、地域の誇りと思えるところとして、「安全、防犯、安心」を挙げている児童がいた。地域で大切にしていることを、しっかり見て挙げていて、素晴らしい。なお、アンケート結果は、後日配布したい。
- 農業も変わりつつあるが、今後の農業従事者も育成したい。
- 新年度、添川児童センターに新たに入る子がいない。乳児期から椿保育園に入って家庭もあり、なかなか難しい現状である。（新年度は、新年長児8人、新年中児7人）
- 飯豊少年自然の家は、東部地区の大きな宝でもある。ただ、老朽化しているので、地域の要望として言っていきたい。

<ミニコラム> 子どもの心とことばを育てるために（その12）

ただひたすら安心させて

「我が子を愛している」と断言しても、一緒にそばにいて遊んであげたり、だっこしてあげたりしなかったら、子供はどこで母親の愛を感じるのでしょうか。特に乳幼児期の子供であれば、しっかりと抱きしめて、「おりこうね」とか「いい子ね」とか語りかけたり、一緒に遊んだりふざけ合い笑い合っていると、肌で愛情を感じるといいます。そして、いつの間にか「お母さん大好き」「お父さん大好き」の子供になり、人間信頼の心が育ちます。これが基盤となって、周囲の人達も好きになり、信頼し、幼稚園、保育園などの集団へも恐れずに入っていけるのです。

我が子を愛していない母親がいるとは思いません。でも、忙しさのあまり子供への働きかけが少なくなっているかもしれません。そんな時でも、子供は寂しさや辛さをすぐに表さず、がんばって生きています。寂しかったり、辛かったりしたまま、何か月か何年かが経過すると、子供の心に異変が起きてくるのです。やがて、行動にも変化が見えてくるのです。

そんな状態になった子供に、「泣くな」とか「乱暴するな」とか言っても直るものではありません。かえって辛さに拍車をかけるようなものです。では、どのようにしたら直るのでしょうか。

子供の異変に気づいたら、子供の寂しさや辛さを十分汲み取ってあげましょう。甘えたいだけ甘えさせてあげましょう。赤ちゃん返りだなんて心配しないで、子供の満足するまで相手をしてあげましょう。そうすると、不思議なことに心は落ち着き、明るい笑顔が生まれてくるのです。母親の愛情に満たされた子供は、泣き虫でもないし、乱暴もしません。

子供が母親を求める時期は、そう長いものではありません。母親の愛情で満たされた子供は、しっかり自立すると信じています。

（長く「ことばの教室」の先生をなさった藤田圭子先生の保護者向け資料から引用しました。若い頃の私には理解できませんでしたが、今なら（本当にそうだなあ）と思います。ミニコラム、いろいろ書きましたが、結論は「安心」ですね。）